



cafe から始まるおもしろまちづくり

# 2005-2010

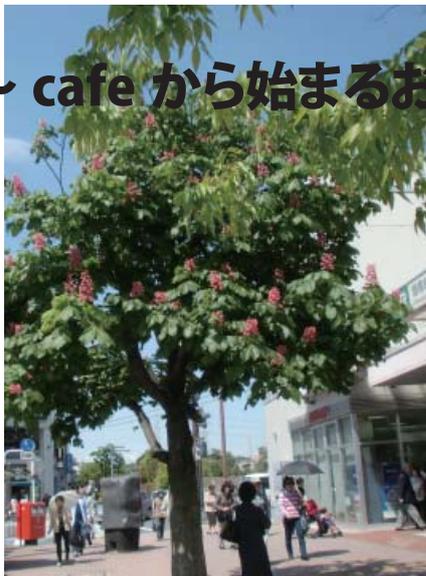


港南台タウンカフェ 5年のあゆみ

<http://www.town-cafe.jp>



# プロローグ～ cafe から始まるおもしろまちづくり



まちづくりは特別な人たちだけのものではない。  
ふつうに暮らす市民も、地域に関心を持ち、ほんの少しだけでもまちに関わるきっかけがあれば…。そんな想いで、市民発意の自発的な取り組みとして、港南台タウンカフェが生まれて5年がたちました。

延べ1万時間を超える、ボランティアや市民スタッフの働きは、筆舌に尽くしがたいことは言うまでもありません。また、音楽通り inCafe や、キャンドルナイト in 港南台、中学生職業体験レポート活動、港南台テント村での「うまいもんまつり」や「プラレール」、「キッズコーナー」などの地域交流イベント、そして、港南台地域情報マガジン「ふーのん」創刊など5年の間に数多くの活動が生まれました。

それらの多くは、事業計画や予算もない中で、cafe やテント村での、日常のつぶやきから生まれてきました。そして、発案者や運営スタッフの多くが、これまでまちづくりに関わりのなかった、フツーに暮らす人たちだったのです。

そういった市民意識の高まりに加え、商店会や市民活動団体など、これまでの地域での信頼性やネットワークの活用、そして、港南台連合自治会や日野連合町内会、港南区役所をはじめ、多様な地域団体・関係者の温かいまなざしと支援により、地域や社会に必要な事業を継続できたように思います。

2010年10月からは、港南台タウンカフェサポーター制度を始めました。これまで以上に活動や支援の輪を広げつつ、港南台タウンカフェの役割や意義を、地域に対して、そして自分たちに対して問い続け、あり方を模索していきたいものです。

斉藤 保



## もくじ

港南台タウンカフェってどんどころ！？	4
カフェサロン	6
小箱ショップ	8
港南台テント村	10
地域交流活動・イベント	12
地域情報	14
タウンシェフ	16
事業性と地域性のバランス	17
ネットワーク・連携・協働	18
運営体制とコスト	20
運営に関わるスタッフ	22
港南台タウンカフェが生まれたワケ	24
港南台タウンカフェ 5年間の軌跡	26
リーフレット・情報誌・報告書で振り返る	28
タウンカフェの運営ノウハウ活かされています	30
プレスクリップ	32
港南台タウンカフェ TOPICS BEST20	34



# 港南台タウンカフェってどんなところ！？

## 機能満載の小さな交流拠点

港南台タウンカフェは小さな拠点ですが、いろんな機能が満載なのです！  
まちの事務局として、必要なことをカタチにした結果なのではないでしょうか…。

### 港南台 タウンカフェの機能

港南台タウンカフェがどんなところなのか私カフェ子が紹介します！  
実際にここでは、どのようにしてまちづくりを行っているのでしょうか。



#### 小箱ショップ



小箱ショップは棚によって一人一人オーナーさんが違うの。心をこめて作った手作りの作品は全部キラキラして見てただけで時間が経つのは本当にあっという間！  
小箱の数は80を超えて地域の方の手づくり品が中心ですが、地元商店や地域作業所の製品なども。

#### もっと×2 交流ステーション



ちょっとお酒でも飲みながら語り合いませんか？  
毎月1回開催される、自由な飲み会交流会  
新たな出会いで地域のつながりを…。

#### カフェサロン



こぢんまりとしたカフェスペースは全部で23席。ぶらりとお茶を飲んだりおしゃべりを楽しむことができます。

#### カフェギャラリー

カフェの壁面はミニギャラリーに変身します。  
写真や絵画展として、また個展やグループ展として、作品の展示販売なども行うことができますよ。



#### 貸しスペース



カフェだけではなく、まちづくりや地域活動などの会合やミーティング、少人数のプチ教室としても多目的に利用できるのよ！  
時には音楽通りや歴史サロンといった催しで賑わっています。  
営業時間外は貸し切りでセミナーや懇親会・パーティーなんかもできるみたい。

#### 情報コーナー



◎ウォールポケット  
このウォールポケット、実はオーナーさんが手作りにしてくれたもの。子育てや地域の情報、みなさまにお届けします。

◎図書閲覧コーナー  
絵本から始まり難しい本まで揃います。  
休憩がてら、どうぞ好きな本をお読みください。



#### まちづくり事務局

タウンカフェには厨房がない!? そのかわり局スペースにはコピー機やパソコン、電話  
この狭いスペースにスタッフが集まり、リグをしたり学生たちが集まってタウンカフェります。  
・港南台タウンカフェ通信(かわら版)発行  
・地域情報サイト e-town 事務局  
・ニュースレター発行 など  
・港南台テント受付 など



## cafe からまちへ飛び出し活動を！

カフェサロンから街へ飛び出し、たくさんの人たちと交流したり活動を展開しています。  
特に屋外の拠点や情報は、わたしたちのまちづくりのための大切なツール（道具）なのです。



## 屋外の拠点 港南台テント村

- 港南台テント村  
（フリーマーケットやイベント）
- キャンドルナイト in 港南台
- 港南台国際協力まつり

港南台テント村会場は、こうした地域交流イベントを実施する屋外の重要な拠点です。

## まちの情報交流

- 地域情報サイト「こうなんだい e-town」運営
  - 地域情報誌「ふーのん」「かわら版」発行
  - 機関紙「リーフレター」発行
- まちの情報を、市民が発信することで、いろんな発見や出会い、アクション、そしてつながりが街のあちこちで生まれてきます。

## コミュニティカフェや コミュニティビジネスの 応援事業

- 港南台タウンカフェ視察見学
- コミュニティカフェセミナー講師や講演
- ソーシャルビジネス現場視察会
- コミュニティカフェノウハウ移転事業

港南台タウンカフェで培ったノウハウが、全国各地のコミュニティカフェなどの運営のお役にたてるようになってきてます。

# カフェサロン

丹沢スギに囲まれた「カフェサロン」は、この町で暮らす人が出会い、つながり、学びえる交流交差点でもあるのです。



## ゆるやかなカフェ的サロン

ほっとひときり入れる場所があるから忙しい毎日楽しく過ぎていく。子ども達を待つ間のおしゃべりをしたり、お友達とスポーツクラブの帰りにゆっくり過ごしたり…。

そんなカフェ的な過ごし方もあれば、自分の作品をギャラリーに展示してみたり、勇気を出してお教室を主宰してみたり、仲間たちのミーティングやセミナーで活用したり。そんな自己表現や事故発見が自然にでき、交わり・つながりあう機能をもつ多目的なカフェサロンは、出会いと交流の交差点でもあります。



## 貸しスペース



カフェのテーブルを活用した予約ができるスペース利用。地域団体やサークルなどの打合せ・会議や、お茶を飲みながらの教室・レッスンなどに活用されています。少人数での利用ができるため人気です。営業終了後は貸切でパーティーや音楽会なども。

## 貸しギャラリー



写真の展覧会や絵画の展示、手作り品の展示販売、各種お教室やサークルなどの展示発表会などに活用されています。また市民活動団体やボランティア活動の活動展示発表の場としての役割も担っています。

## ドリンク・スイーツ



ドリンクや、スイーツ、パンにお弁当など、主に地元の洋菓子店やおせんべい屋さんに、ご夫婦で経営されているパン屋さんなど、地域のこだわりや人柄、そして味をお客様にお届けする役割も担っています。

## 【カフェサロン】

港南台駅徒歩約2分のところに位置するタウンカフェ。22坪のこぢんまりとした、スペースには、約20席のカフェサロンや小箱ショップ、ギャラリー、情報コーナーなどが所狭しと詰まっています。神奈川県産材の丹沢スギでできた、店内の棚やテーブル、イス、カウンターなどぬくもりの伝わる空間です。地元のお店のスイーツやおせんべい、弁当、パンなどをセルフサービスのドリンクと一緒に楽しめます。



営業時間外は貸切利用も可能となっている。セミナーやサロン、音楽会、パーティーなど多目的に活用されています。



誰でもぶらりと立ち寄れる公共空間として、開放感あふれるエントランスとなっている。

## 設計士さんのコメント

中学生・高校生の頃からボランティアスタッフとしてTOWN CAFFEの活動に参加された人達がもう大学生・社会人になられた5年間は、まさに人材を育てられる拠点であり、育って行った人達は、脳裏と手に当時の名残を感じながら、新しい社会への応用が始まるんだとボクは期待しています。

TOWN CAFFEは言わば地域の人材交流 STUDIO 広場の意味性がより強く要求・待望される場となるのでしょう。

一級建築士事務所もくもく studio 石井啓介氏



## cafe のこだわり

### ～すべてにストーリー

オープンで開放感のあるエントランス。5年経った今でも、「ステキな木の香りですね〜!」という声が聞かれます。

神奈川県産で丹沢の杉のこだわりをもった、設計士の石井さんと、神奈川県建具協同組合の佐久間さんはじめ皆さまの想いが結集して、地元産の木材をふんだんに活用したカフェサロンが仕上がりました。

ちょっとしたショールームの機能も果たしており、テーブルや椅子に値札がついていることも

あります。横浜元町家具のテーブルもさりげなく存在感を発揮しています。

ミャンマーのフェアトレードの珈琲に、オーガニック紅茶、地元のお店や事業者の想いがこもったスイーツに、お弁当…。

港南台タウンカフェで使っている、ご紹介しているものには、どれもストーリーがあるので。もちろん、快適な空間と時間を楽しんでいただくための工夫やスタッフの心構えもそれなりにしっかりしているつもりです。

どなたでも気軽に立ち寄れるようにと、開放的であるが故に、ちょっと暑い、寒いはあるかもしれませんが、ご勘弁を。

さて、そんなカフェサロンでは毎日いろんな出会いが生まれています。小箱ショップ作家さん同士はもちろん、お客さまとの語り。貸しスペースでの様々な活動。音楽やセミナーなど…。そういった一つひとつの出会いや発見の中から、少しだけでもつながったりすることで何かが始まる。私たちスタッフはその何かを探す役割が求められているのだろうか。(斉藤)

# 小箱ショップ

タウンカフェの壁面いっぱいには並ぶ 100 の小箱たち。手づくり雑貨を中心に愛らしい作品が温かい雰囲気醸し出してくれます。

## まちの人のいろいろな技が 誰かを幸せにする 喜んでもらえることが、 新たな喜びとなる

手づくり雑貨や作品などの展示販売を通して、自己表現や地域参加、プチ起業などの機会となるのが小箱ショップの魅力です。また、小箱オーナーさん同士の交流や、お客様・地域の方々との出会いや、交流の場になっていることも大きな意義があるようです。キャンセル待ちも多い大人気の小箱ショップの魅力を探ってみます。



## 小箱スクエア



小箱ショップのオーナーさんが、小箱から飛びだして、カフェのテーブルで展示販売や製作実演、プチ体験教室などを行う試みです。実際に作家さんと出会い、お話しできる事が好評で、中でもプチ教室は大人気ですっかり「定番」となった教室もあります。

## 小箱サロン



小箱ショップの特徴は、オーナーさんたちの自発性と連帯感。日常的な情報交換以外に、小箱サロン（オーナーさんたちの集まり）で、魅力アップのための話し合いや勉強会を定期的に開催。自分だけの利益を追うのではなく、全体の良さを活かしてこういう意識を持つて関わる方の輪が広がっています。

## おでかけ小箱



港南台テント村で小箱ショップのコーナーをだしたのが「おでかけ小箱」のはじまり。今も年に1～2回実施しています。その他にキャンセルナイトやタカシマヤの一坪ショップ等でも出店。タウンカフェから飛び出して、みんなでワイワイやりながらお客様との交流も深めています。

## 【小箱ショップ】

地域の手づくり作品が9割を超える。毎月の利用料(2,500円～6,000円/月)と販売手数料を支払うことでどなたでも利用できる棚ショップ。開設時60だった小箱も2007年には約100棚(半分に仕切った棚もあるので変動する)に増設。2年目からはキャンセル待ちが続くほどの人気ぶり。

出店者の9割が個人のいわゆる地域住民。地域福祉作業所や地元企業商店の出店もあります。



地元神奈川の丹沢スギでできた棚には、約3000点を超える手づくり作品などが並ぶ。

素材にこだわったものやちょっとした工夫が施されたもの、色柄がきれいなもの、作り手のセンスが光るものなど、見るだけでも楽しい魅力的な品物ばかりです。

## 小箱はまさしく宝庫

### ～地域は人財の宝庫

地域交流拠点は「誰でもぶらりと立ち寄れる事がダイジだね」を合言葉にオープン前は企画を進めていたが、大きな問題となったのが家賃である。誰でも寄れる利便性の良い立地だと当然家賃などの運営コストが高くなる。そこで各地の事例研究の結果、小箱ショップ収益である程度の運営コストがまかなえるであろうと判断。もっとも、当初設置した60の棚の半分程度しか利用がないと弱気でもあったのだが…。結果として、1年も経たずに、キャンセル待ちが続出して、小箱を増設するほどの盛況で、タウンカフェ運営の大きな財源の柱ともなった。

一方で、タウンカフェの役割は、小箱の作品や商品を売ることだけではなく、作り手の想いをお客様に伝えることである。オーナーさんの

お人柄や作品に込められた思いなどを伝えるため、日常的にお話をお伺いしたり、交流の場、サロン(ミーティング)の機会を設けるなどの意識をもった運営を心掛けています。そうした結果、中には1週間に2回も3回も足を運んでくださる方も増えたり、これまで、10名を超える方がボランティアとして運営のサポートに関わってくださった。

それだけではなく、中越震災支援やマイナーサイクロン災害時などに、自ら作品を提供して募金を呼びかけたり、他のオーナーさんに声かけして5周年のギャラリー展示会を開催したりと、自主的な動きがあちこちで見られるようになった事はとても大きな成果であると思う。

そのひとつがキャンドルナイト in 港南台であろう。2007年4月の小箱サロンでのつぶやきがきっかけで、学生ボランティア、スタッフ、音楽通り出演者を巻き込み、さらには商店会、

大型店、地元商店、地元企業などとの協働関係も構築してキャンドルナイト in 港南台が生まれた。現在は実行委員会組織となり、当日運営スタッフも40名、来場者も600名を超えるイベントに成長したキャンドルナイトも、小箱ショップがあり、そこに意識を持ったオーナーさんがあり、一緒に畑を耕し苗を植え、育てる風土ができあがってきたからの賜物であろう。

商品を預かり販売するという契約関係(＝向かい合う関係)から、地域の一員としての仲間の関係(同じ方向を向く関係)に育てていただいた事は、当初想定してなかった、とても嬉しい大きな大きな誤算であった。(斉藤)

# 港南台テント村

「港南台テント村」では、学生や市民ボランティアが中心となり、フリーマーケットや様々なイベントを開催しています。色々な出会いやつながりが生まれる、大切な地域交流拠点です。

「港南台テント村」では、駅前広場という好立地を活用して、1998年からフリーマーケットを開催しています。

横浜港南台商店会が、商業者だけではなく住民も参加でき楽しめるユニークなまちおこし事業となっているフリーマーケットイベントは1998年から開催。

2005年からは、学生や主婦の市民ボランティアが企画から運営まで主体的に関わり、月2回開催に増やすとともに、地域交流のためのイベントやオープンカフェなど様々な取り組みを行ってきました。



## フリーマーケット



1998年に始まり、2009年には開催100回を迎えました。地域住民や商業者など毎回30～55のブースに、衣類、雑貨、手作り品など魅力的な品物が勢ぞろいします。

## オープンカフェ



パラソルの下には、おしゃれで温もりのある木のテーブルセット。薫り高いホットコーヒーや、冷たいドリンクはいかがですか。やきそばなどの軽食もご用意しています。

## ミニイベント



地域の主婦や学生が主体となり、さまざまなイベントを企画・運営しています。(右ページ参照)

## キッズフリマ



中学生以下の子どもたちが店長になって、キッズ用品を販売します。店長一人ひとりがディスプレイから販売まで一生懸命頑張ります!!

## うまいもんまつり



日本全国、そして地方から、その名の通り「うまいもん」が大集合します！来て食べなきゃ損をする、毎回盛況のテント村一大イベントです。

## プラレール



子ども達に大人気のイベント！広い場所で思い思いのプラレールワールドを創りあげています。子どもたちも保護者も、ボランティアの学生たちも一緒になって遊ぶ微笑ましいひとときです。

## まちの魅力発見



港南台周辺で活動している地域団体が、それぞれの活動の紹介やボランティアの募集します。意外と知らないまちのこと、魅力を大発見!!

## キッズコーナー



学生ボランティア手作りのボードゲームなど楽しいゲームが盛りだくさん！小さい子どもでも楽しめます。大当たりを出して、豪華景品(?)をゲットしよう。

## おでかけ小箱



年に1,2回開催しているおでかけ小箱。小箱ショップの作品をアウトドアに持ち出して、みんなでワイワイ楽しみながらお客様との交流を深めています。

## 誰でも気軽に参加交流できる

### 港南台テント村の可能性

港南台タウンカフェが開設されたきっかけは、港南台テント村であった。商店会が1998年から運営していた港南台テント村は、市民参加のまちづくりの絶好の機会となると感じたからである。

常設の拠点を求めて様々な活動を展開していたころ、商店会とのホームページの打合せのために、港南台テント村で青空ミーティングが行われた。その時に「開催日を増やして欲しい!」「抽選で外れちゃったのよね～」といった地域のニーズの高さと、受付体制や、テント設置から

受付業務などといった運営側の課題を感じた。一方、私たち（イータウンやまちづくりフォーラム港南）は、常設のカフェ的な居場所を作るべく奔走していたが、まちづくりや市民活動をやっているという特定の人だけではなく、ケータイメール打ってる高校生たちも同居できる自然体な場づくりを目指していた。まさしく港南台テント村はその可能性もっているのでは？

そんな想いを実感できたのが、タウンカフェ開業翌月、2005年11月に開催した、中越震災復興イベントとして実施した地域イベントである。「しゃべり場」という若者のボランティアサークルのメンバー10名近くが、新潟の青年たちと包丁持ってネギ刻んでわいわいと一緒に鍋をつくった。そのうちカフェに顔をだすよ

うになり、かわら版の企画や編集、取材にも関わるメンバーが3-4人と増えてきたのだ。

現在も、タウンカフェ業務やまち情報取材はちょっとハードルあるけど、フリマの受付や子ども相手のイベントであれば…、といて関わり、気がつくと多方面で活躍したり、タウンカフェで中核を担うスタッフに成長したり、人材発掘のきっかけとなる機能をしっかり担っているのだ。

もつとも、月に一度ぐらい、「ああ〜どうも〜また暑いですねえ!」なんてフツーに挨拶する関係も見落としがちであるが、それがフツーになっている光景が今の社会には珍しいのかもしれない(斉藤)



誰かと一緒にそこにいること、  
誰かと一緒に汗を流すこと、  
誰かと一緒に新たな発見に驚き合うこと、  
誰かと一緒に考え合うこと、語り合うこと、響き合うこと  
そしてその「誰か」の輪が広がっていき、「何か」が  
生れてくること、  
それがうれしい・・・。

巨大地図に乗って「まち」の情報を書き込もう！  
「ここで遊んだ!」「おいしいラーメン屋さん」「危ないカーブ」・・・。

## きっかけはいろいろ、テーマもいろいろ

タウンカフェはスタートの頃からちょっとしたきっかけを大切にしてきた。拠点にはいろいろな人やアイデアが集まってくる。スタッフが「まち」で感じたこと、日々の情報受発信などを通して活動やイベントが生れてくる。小箱のオーナーさんのたった一言から生まれた「キャンドルナイト」、ちょっと試しに吹いてみた篠笛が「音楽通り」につながり、まちのニーズを感じて「まち歩き」や「シンポジウム」が実施された。



## はちみつ畑プロジェクト



鎌倉街道沿いのビルの屋上で養蜂に取り組み始めた(株)キクシマ。企業の地域貢献事業にタウンカフェも一役買う。はちみつレシピコンテストや地域ブランドの開発。ミツバチをめぐる、みんなで良好な環境を生み出す活気あるまちを目指したい。

## キャンドルナイト in 港南台



キャンドルの灯りを眺めながら、環境のことを・暮らしのことを考えよう。オーナーさんの一言がきっかけで始まったキャンドルナイト。地域の活動団体や企業・商店、様々な人の力で作り上げ、6回目となる2010年夏は600人もの参加者でにぎわった。

## 音楽通り in CAFE



路上ライブのように演奏者も聴衆も無料でさりげなく…をコンセプトにした音楽通り。小箱オーナーさんと篠笛奏者の出会いとお隣音楽教室の先生がきっかけで生まれました。これまでウクレレ、フルート、ライアー、二胡、ギターなど、いろんな音色が奏でられました。



ガリバーさんの足跡探し～港南台まちあるき



パウムクーヘンづくり～キャンドルナイト in 港南台

## 奥山さんのコメント

出会い、その多くはごくありきたりなものだ。だが、なにかの要素、例えば好奇心、勇気、ひらめきなどが加わると、とたんにその出会いは輝いてくる。タウンカフェとの出会いはまさにそうだった。音楽通りを通り過ぎる人々と言葉を交わし、キャンドルに思い込める人々と思いを通じ合う。その中心にタウンカフェがあり、そこに働くスタッフや集う人々がいる。時には熱くなり、そしていやし合うあたり前の人の営みを優しく包む空間を私達は大切にしていかなければならない。

キャンドルナイト in 港南台実行委員 / 音楽通り inCAFE 企画運営協力 奥山敏美氏



港南台タウンカフェシンポジウム「地域で育つ子どもたち」

何のために、

何を求めて・・・。

「ずっとここに住んでいるのに知らなかったわぁ！」まち歩きをしたときの参加者の声。ただ闇雲にイベントをしているわけではない。自分の住む地域の魅力に気づく、いろいろな文化に触れる、環境のことや子どもたちの育ちについて考える・・・きっとそれは、人や地域を大切にすること、そして私たちの足元の暮らしを豊かにし幸せを生み出すことなのだろう。

小学生と大学生が声をそろえて呼び込みをする。キャンドルの灯りに目を輝かせる赤ちゃんと傍らで缶ビールを飲み干すおじいちゃん。若いママの率直な意見が光ったシンポジウム。そんなひと時、ひと時がみんなの宝物になっていくのではないだろうか。(岡野富茂子)

## 港南台国際協力まつり



横浜 NGO 連絡会（通称 YNN）との共催。年に一度の国際協力イベントです。国際協力団体等約 20 の団体が出展して、ステージパフォーマンスや世界各国の食べ物、ドリンクの紹介や販売、フェアトレード物品販売など多彩なイベントとして定着してきました。

## もっと×2交流ステーション



まちづくりフォーラム港南が運営する、自由な交流飲み会で毎月第一金曜日夜に開催。シニアや学生、主婦など様々な立場の方で初めての参加も多く県外からの参加もある。飲みながらの情報交換や交流から生まれるつながりやまちづくりのネタも楽しみの一つ。

# 地域情報

商店と地域、大人と子ども、学校と地域。  
まちを結び、まちを知り、  
港南台をもっと好きになるための情報基地。  
それがもう一つのカフェの顔です。

## まち全体がフィールド 情報でまちをつなぐ架け橋に

カフェサロンでありながら情報発信やまちづくり事務局の役割を担っているタウンカフェ。

ウォールポケットには港南台周辺のイベント情報やボランティア募集などのチラシが所狭しと並んでいます。地域情報誌の企画・編集では主に学生や主婦ら市民レポーターが活躍。

タウンカフェがきっかけとなって新しいつながりが生まれる、そんな情報発信を目指しています。



## ふーのん



2010年秋、かわら版をバージョンアップした地域情報誌を創刊。風渡る(ふう)穏やかな(のん)まち港南台のステキさを紹介するマガジン。まちのレポートやマップ、1000人インタビューなどじっくり街を感じてもらえます。港南台エリア53カ所で配布。

## かわら版



2005年から2010年まで年4回、毎回2万部発行していたかわら版。毎号、季節を感じさせるカフェ子の表紙で親しまれてきました。商店会情報に限らず、「地域」という視点でお店・人・活動・イベント情報を紹介。企画や取材・編集の大部分は学生たちのボランティア。

## こうなんだい e-town



港南台の地域情報サイト。店舗情報やイベントの他、市民活動レポートや人物紹介(まちの達人)など、地域に密着した情報を掲載しています。

<http://www.e-town.ne.jp>

## 【市民レポートって】

地域の情報を市民の目線で伝えていく、市民レポート活動。レポーターは高校生や大学生、主婦など地域に暮らす人たちです。

2010年からは中学生の「まちを支える仕事」レポート活動も始まりました。まちの情報を伝えるだけでなく、取材活動の中から新たな出会いや交流が生まれ、地域に対する思いが育まれています。



## 市民レポーター安木さんのコメント

ふらりと立ち寄ったタウンカフェで、気付けば人の話を聞く機会に立ち会っていました。

市民レポーターなんて自覚なし。シンプルに「人」の豊かさに触れられたことに感謝♪  
主婦ボランティア 安木由美子さん



## 「中学生仕事人に会おう」レポート

2010年から始まった中学生職業体験レポート活動

中学校の授業で実施する職業体験後、希望者を募り、再度職業体験先を訪問し取材をする活動です。

アポとりから原稿の編集作業まで、11名の中学生が担当。地域の大学生や主婦ら7名がサポーターとして見守り、約2か月をかけて完成しました。このレポートは「まちを支える仕事」レポートとして「ふーのん」や港南台 e-town ホームページに掲載されています。

◆協力：港南台第一中学校

## ウォールポケット



港南台タウンカフェにある情報コーナー。地域の非営利で公益的な活動を紹介するため、市民活動団体やボランティア、公的機関などのちらしやニュースレターなどが設置されています。情報を届けたい団体の方々との関係性も深まります。

## まちの魅力再発見から

### ～地域への関心+主体者へ

地域情報活動というのは、街の情報発信事業とは異なるものである。

まずは、市民が自発的に主体的に関わるのが原則である（やや強制的なきっかけも多いが、まあそれも良しとしよう）。自分たちの暮らす街を知り、そこで何かを感じ取るというプロセスがもっとも重要なのだ。

そして伝えるための文章や写真などのテクニックが足りない事が多いので、みなで学び合う。このプロセスももちろん大切ではある。しかし、忘れてはならないのが、取材と通じた地域との関係である。

取材していると、日頃気づかない街の魅力や不思議さ、そして本当にビックリするほどいろんな智恵や情報や才能を持っている人に出

会う。そうした街や地域を知るといふ喜びとともに、相手とのゆるやかな関係ができあがってくる。まさに一期一会である。

そんな機会を自分の糧としてどう捉えるか。自分たちの活動にどう活かせるか、そして地域の財産として大切に考え育ちあうきっかけとするか、いろいろな発見ができるのが、地域情報の面白さであると思う。

賑やかなイベントと対照的な活動で、ある種の経験やスキルも必要に思えるが、真摯に向き合い、じっくり味わう姿勢があれば誰でもステキな経験ができるであろう。（斉藤）

# タウンカフェ



タウンカフェの活動や、各地で地域活性を目指す方したり実践している方と、学びの場・交流の場やステップアップのための取組みを行っています。

## 話を聴く、体感する、実践する 地域づくりは人づくりから

まちづくりにはそれを担う「人」が欠かせません。タウンカフェは活動の実践者として、高校生から主婦など幅広いボランティアやインターンシップ活動などにより多くの活動が生まれています。また一方で、これからまちづくりやコミュニティカフェ運営に取り組みたい人々を発掘・支援したり、ネットワークづくりなどする中間支援的な取組みも行っています。

## ボランティア・インターン



スタッフはタウンカフェの運営の以外にも、ボランティアスタッフ交流会や研修会、外部研修等にも参加しながら、地域の中で主体的に活動していきます。特に研究生（インターン）はスタッフと同等の責任をもって企画から運営まで携わります。タウンカフェボランティアの登録者数は2010年までで約90名にのぼります。

## NPO インターンシップ



大学生のインターンを2007年から合計13名受け入れ。ボランティア・地域の人・団体と関わりながら、イベント企画運営や地域情報紙の取材編集を行うなど、タウンカフェスタッフとしてまちづくりを体感します。

## 視察研修・見学会



コミュニティカフェ運営について実際の現場視察会で見学や視察研修を行います。2010年度は「ネットワークづくり」「人材発掘」など5つのテーマで10回の視察会を実施。また年間を通して個別の視察研修も受け入れています。

## café マイスター養成塾

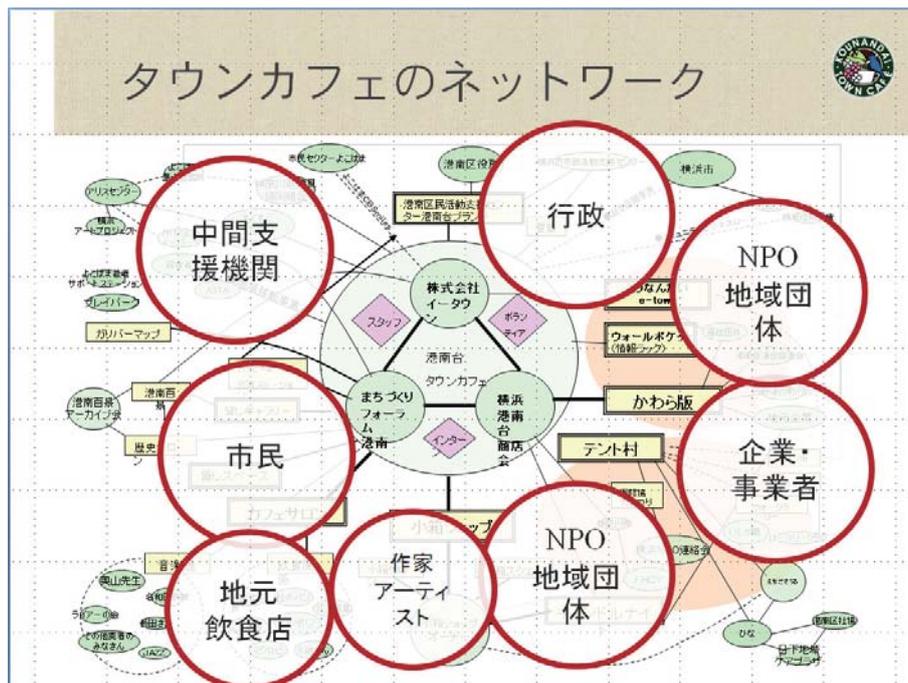


コミュニティカフェを立ち上げたい人を対象に、立ち上げから運営までのノウハウ講座を2008年から開講。講師として設計士や中小企業診断士など、場面場面で欠かせないキーパーソンにもご協力いただきました。



# ネットワーク・連携・協働

港南台タウンカフェで取り組んでいる多くの事業や活動は、地域の様々な団体や行政との連携により実施されています。



## ■連携事業や取り組みの一例

### 横浜港南台商店会

**[ 港南台タウンカフェ通信発行 ]**  
**[ 港南台テント村 ]** **[ 事務局運営 ]**  
 横浜港南台商店会の事務局の委託運営や、港南台テント村企画運営、通信の企画編集発行業務を行っています。

### 港南台連合自治会・日野連合町内会

**[ ちらし配布・お祭り運営協力 ]**  
 港南台タウンカフェ通信などの配布にご協力いただいたり、まつりへの出店や広報協力などを行っています。

### 横浜 NGO 連絡会 (YNN)

**[ 港南台国際協力まつり ]**  
 2006年より毎年共催で港南台国際協力まつりの運営を行っています。約20のNGOや、地域団体が参加するイベントです。

### 株式会社ククシマ

**[ 港南台はちみつ畑プロジェクト ]**  
 社会貢献として、養蜂を行う企業との連携プロジェクト。はちみつ応援団やレシピコンテストなど企画運営。

### 港南台第一中学校

**[ 中学生職業体験レポート ]**  
 毎年中学校が実施している職業体験を、「体験」だけに終わらずに、「取材レポート」として、インタビューする活動です。

### 港南台子育て連絡会

**[ 港南台子育てマップ発行 ]**  
 港南台の子育てマップを港南台タウンカフェ通信の別冊として発行協力を行っています。また、各種活動や事業の広報協力も。

### 港南区工業会

**[ 会社訪問レポート ]**  
 年二回発行する、会報誌の会員企業訪問レポートを、港南台タウンカフェの学生ボランティアが取材してレポートする活動。

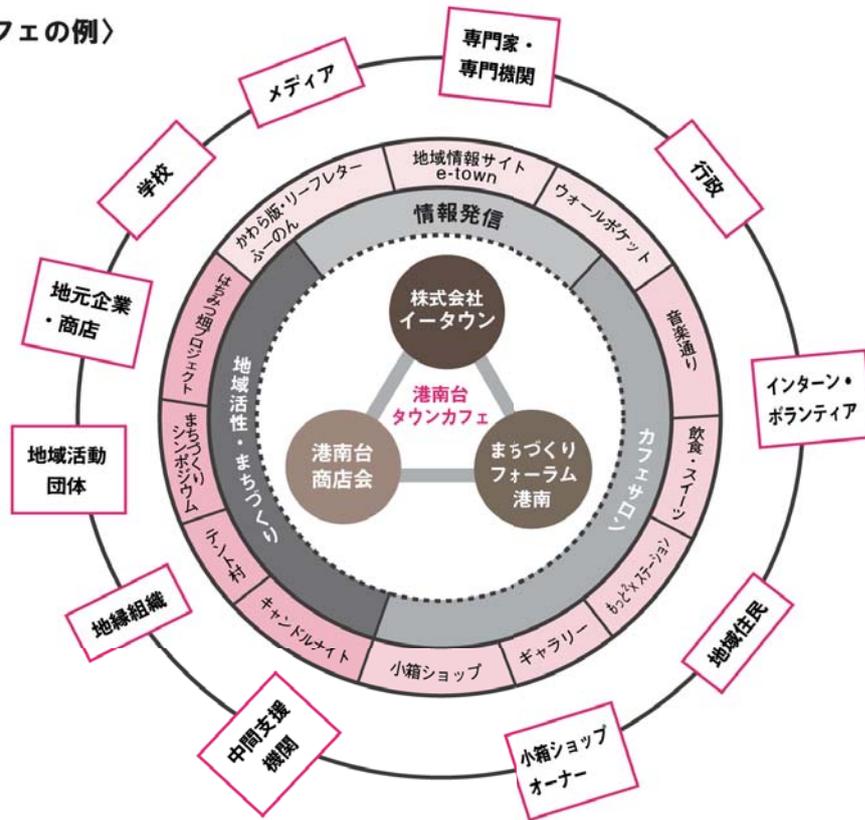
### NPO 法人ユースポート横浜

**[ よこはま若者サポートステーション ジョブトレーニング受入 ]**  
 ニート、フリーターやひきこもり状態にある若者の就労支援の一環のジョブトレーニングの受け入れを行っています。

### 港南区役所

**[ 港南区民活動支援センターランチ ]**  
 市民活動や地域活動など自主的な活動をサポートするための支援センターの、サブ拠点(ランチ)としての役割を担っています。

〈タウンカフェの例〉



**■キャンドルナイト in 港南台**  
 港南台タウンカフェ × 株式会社八千代ポトリー × 港南台高島屋

市民発意の地域交流イベント「キャンドルナイト in 港南台」(実行委員会体制)の運営に必要な、備品や資材などの調達を協力的体制で実施。また資金や広報協力、ライトオフなどできる範囲の多様な関わり方で地元事業者が協力連携できるスタイルで連携の拡がりが見られます。

▼港南台タウンカフェ  
 ・運営ボランティアや実行委員、出演者の呼びかけ・コーディネート、事務局運営  
 ▼株式会社八千代ポトリー：たまごの提供(たまごのエコキャンドル用)  
 ▼港南台高島屋：展示用什器などの物品提供、ライトオフ協力  
 ▼地元事業者(約30社)：ライトオフ、広報協力、資金提供など



**■港南台はちみつ畑プロジェクト**  
 株式会社イータウン × 株式会社キクシマ

社会貢献として養蜂を行う建築業と、コミュニティカフェや横浜港南地域情報サイト e-town 運営を行う地域のネットワークを持つ「イータウン」の連携で港南台はちみつ畑プロジェクトを運営するスタイル。

▼株式会社イータウン  
 ・学校や自治会など地域団体への呼びかけ  
 ・はちみつ応援団(サポーター)やはちみつレシピコンテストの企画運営  
 ・広報  
 ▼株式会社キクシマ  
 ・養蜂(はちみつ提供)



地域資源がつながるといふこと

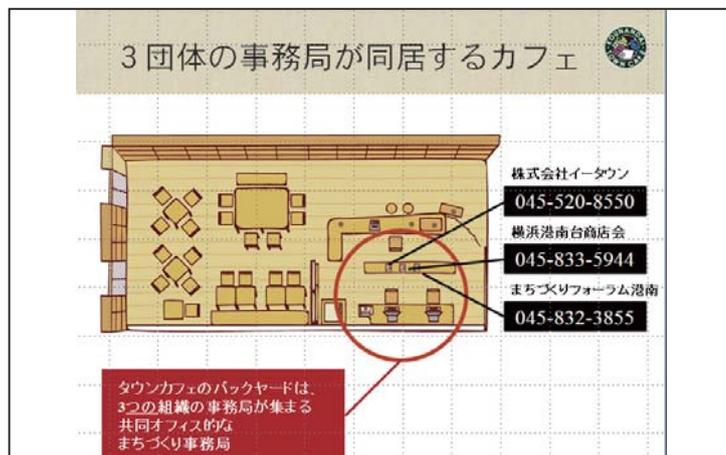
まちの活性化は商店会、子育ては保育や学校、PTA、たすけ合いや防犯は自治会や地域団体が担えばすむものではなく、様々な知恵やノウハウ、ネットワークをもっている団体が相互に良さを発揮し合い、高めあってはじめて地域は良くなっていくのだと思います。

情報化社会といわれて久しい現代。情報が増えているにも関わらず、一方でご近所の関係や地

域のつながりを感じる事が少なくなっているからこそ、タウンカフェがまちの事務局として、つながりづくりや連携のきっかけになれるように歩いていく必要性を実感しています。(斉藤)

# 運営体制

## 3つの団体が連携して運営しています

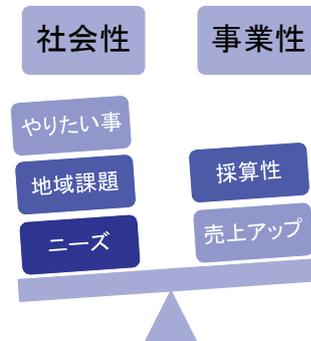


NPOと商店会と株式会社。性質の異なる3つの団体が連携して「港南台タウンカフェ」を運営しています。事業に関しては、株式会社イータウンが、拠点の家賃負担やスタッフの雇用、各事業の運営など実質的な事務局機能を担うとともに、港南台商店会とまちづくりフォーラム港南の事務局の代行も行っています。横浜港南台商店会は、地元自治会や事業者への信頼感やネットワークの強さと、10年以上にわたる港南台テント村運営が強み。まちづくりフォーラム港南は、市民活動団体の運営や実践者、研究者らで構成されている強みを活かし市民活動支援やネットワークづくりを行うなど、それぞれの持ち味を発揮しながら連携しています。

# 運営コスト

## タウンカフェの予算について

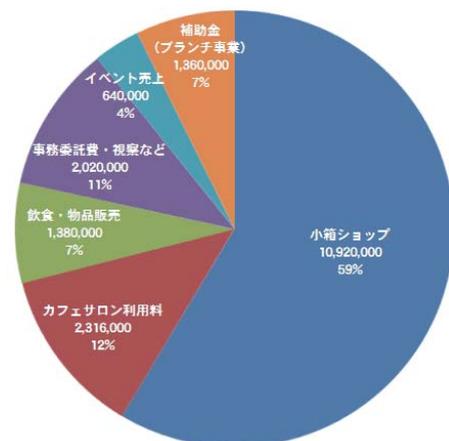
補助金だけに頼らない自立した運営を行っています。小箱ショップが大きな財源となっていますが、他にもサロン利用料やイベント売上、情報事業、事務委託費など様々な地域の事業収入によりバランスをとっています。



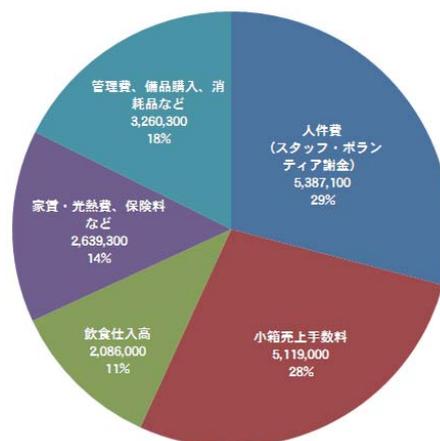
事業性と地域性のバランスが難しいのデス。

## 収入と支出の内訳 (2009年度)

### ■収入



### ■支出



## 社会性と事業性のバランスは

### 至難のワザか？

厨房のない怪しげなカフェが2005年に誕生した。全国どこを見渡してもあまり同じようなお店もなく、手作り雑貨店なのかカフェなのか？不思議がる方も多かっただろう。

誰もがぶらりと立ち寄れて、居場所にもなり、いろんな関わりの機会があるような場所は、これまでありそうでなかった。そんな拠点を民間で運営しようというのだから難しい課題にチャレンジしていたのだろう。しかし、横浜市経済観光局の商店街空き店舗補助事業で2年間は、改装費用と家賃の一部(60%)の補助を受けて

軌道に乗ることができた。とはいえ25ヶ月目からの補助金はゼロになる。開業して半年で早くも自前での健全な運営は厳しいと判断して、小箱ショップや貸しスペース利用料などの大幅な改訂を行った。

また、事業・サービスにおいては、「社会に必要なのです！」は通用しない。コンセプトづくりから、カフェサロンの内装デザインや接客なども、プロとして一般事業者と対等以上にならないと継続性は難しい。そのための研修や話し合いを時間をかけて積み重ねてきた。

今後は地域のつながりの希薄さや、多様な地域課題に連携による地域づくりを進めていく事を、本当の意味での「新しい公共」としてとらえ、地域の人材発掘と育成をしながら、地域事業として継続するために、事業と補助も含めた支える仕組みづくりを、地域の中で考えていく風土を作っていく事も重要ではないだろうか。(齊藤)

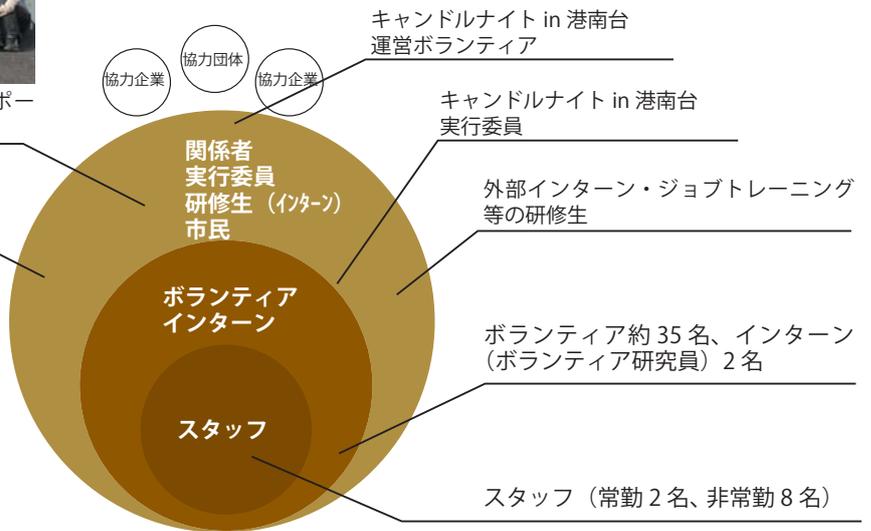
# 運営に関わるスタッフ

様々な立場の市民スタッフが主体的に関わっています



中学生職業体験レポートサポートスタッフ

ふーのん編集サポートスタッフ



港南台タウンカフェのスタッフは、有償で働くスタッフと、ボランティアやインターンのスタッフ、そして、イベントやプロジェクトごとに参加協力いただくスタッフに分けられます。

有償スタッフは8名で、ほとんどが非常勤スタッフでありながら、プロジェクト担当や事業責任者として大きな役割を担っています。

ボランティア・インターンは約25名程度が常時関わりをもって、興味のある事業に関わっています。高校生や大学生の学生が7割程度を占める若いエネルギーとアイデアに満ち

ている一方、地域での活動経験が豊富だったり、幅広い主婦ネットワークがあるような、主婦ボランティアの方々の存在も大きく、開設以来5年間殆ど休みなく関わってくださる方もいらっしゃいます。

居場所となり、地域参加の場であり、自己成長の場でもある事が多くのボランティアやスタッフたちの継続する理由であるようです。



作：伊藤 L1と

# スタッフからのメッセージ

誰かに言われたから、ではなく、  
地域社会に、こういった取り組みが  
必要だと感じた人たちが  
自主的な取り組みとして  
運営しています。  
そのために必要な、  
人や組織、場、事業、情報、ネットワークは、  
用意されるものではなく、  
知恵を出し合い、育みあい、悩み・考え・相談し、  
試行錯誤しながら一つずつ積み重ねていく。そのプロ  
セスが重要でもあると考えます。

## 平野みさ

タウンカフェには色々な年齢性別の、個性のはっきりした面々がいて、さりげなくカバーしあって 元気を呼びあっているんです。いつもありがと。そして、スタッフはタウンカフェに関わる皆さんに精一杯対応していきたいですね！



## 山本瑞穂

5年間カフェに関わり、自分なんてまだまだ!!と思うことばかり。ここで過ごした青春の日々は私にとって非常に貴重な人生経験。これを胸に来春から社会という波に挑みます。



## 田中久子

自他共に認める服好きの私は、毎朝ラッキーカーをチェックしてコーディネートを考える。カフェでアクセサリーや小物をプラスしていくのもなかなか楽しい。小箱オーナーのみなさん!いつまでも私の物欲を刺激し続けてくださいね~!



## 瀬川咲子

小箱オーナー、ボランティア、インターン、スタッフ。色々な立場で色々な経験をし、自分の世界が広がりました。この幸せをもっとたくさんの人に感じてもらいたい、誰もがそんな気持ちになれる素敵な場所です



## 平野真由

カフェに通って4年半。これまで形ある備品をいくつも壊してきたが、形ない良いものをそれ以上につくってこれた…かな?今後も形の有無に限らず、自分の傍にあるものを大事に、そしてもっと良くしていきたいです。



## 岡野富茂子

歩いてきたあとをふと振り返ったら、お花がたくさん咲いていた。そんなタウンカフェの5年でした。タウンカフェの前に道があるわけではないけれど、だけど、一緒に歩む人も増えて、これからもっとたくさんの素敵な花が咲くことでしょう。



## 中村律子

ちょっとしためぐり合わせで始まったタウンカフェでの仕事ですが、才能あるオーナーさんやスタッフに恵まれて楽しくあつという間の5年間でした。タウンカフェでのすべての出会いに感謝、感謝です。



## 田中美和

ひょっこりとカフェに来て1年余。ここで過ごす時間は自分と向き合う事のできる大事な時間。沢山の楽しみや気付きを下さる皆さんと、コーヒー一杯の幸せ、小箱いっぱいの幸せを感じあえたらいいアと思っています。



## 斉藤保

自分らしい生き方って意外と難しいのかも。でもちょっとだけ認め合ったり表現できる場があれば、...。そんな想いで、快適な「空間」×無駄な「時間」=人間(ほどよい「人の間」)の方程式が成り立つような場づくりを行ってきたのでしょうか。とにかく教えていただく事が多かった5年間でした。



# story

## 港南台タウンカフェが生まれをワケ



### まちづくりフォーラム港南の誕生から

1996年から港南区で行われた事業、「港南まちづくり塾」。行政の事業終了後1999年から塾長たちや選考委員の研究者らが自発的に集まって構成されたのがまちづくりフォーラム港南。

人材育成のセミナーや市民活動調査などを行うなかで、市民活動や地域活動の担い手の方々の大きな課題として、情報発信や誰でも立ち寄れる場の機能が重要であるとの事から、上大岡交流交差点構想へつながっていった。

### 地域情報という手段

1998年。散居村の田舎町から上大岡に越してきた齊藤は、再開発が進み、人の気配が失われていく街の様子や、居場所の少ない自分を照らし合わせ、イベント好きの血が騒ぎつつあった。しかし誰一人知り合いのいない中でできることは限られており、気がつくインターネットで上大岡エリアの情報交換を行う掲示板を運営していた。その後急速にアクセス数も増えて事業化す

る中で、重要なコンテンツである人物取材を開始。ボランティア団体や、地元のお店、趣味の先生から、様々な特技を持つ人など取材を通じて、地域の豊かさを知るとともに、コーディネイト不足による地域の問題点を感じはじめる。ちょうどそのころ、港南区民会議とともに足を踏み入れたのが、まちづくりフォーラム港南であった。

### 上大岡での交流交差点

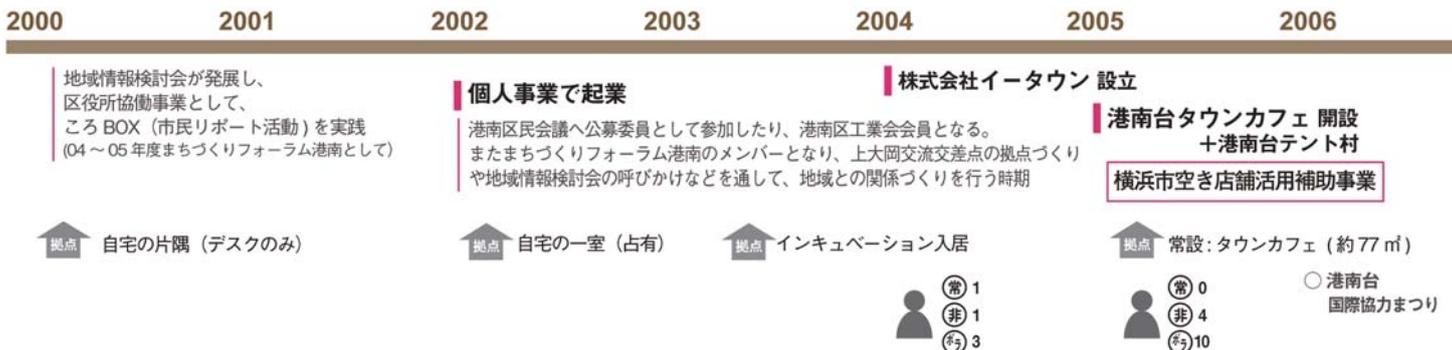
まちづくりフォーラム港南では、2001年頃から、上大岡で市民活動、ボランティア活動の拠点であり居場所となるべく機能をもとうと思案し始める。商店街や自治会、行政、商業者、市民らも巻き込み、研究会やシンポジウムにフォーラム、話し合いの場、ガリバーマップイベントなどを行いながら、2003年には、実証実験として、駅ビルでの、「上大岡一日交流交差点」を実施。手応えは感じられたものの、当時は、誰でも集えて、自己表現もでき、たまにはお酒も飲みたいね、やっぱり気の合うセンスのいいスタッフがいつもいて、会議もできて…という「交流交差点」はまだ夢物語。資金も場所も働き手もなく、やや途方に暮れそうな時期に、同じ港南区内の横浜港南台

商店会との出会いの機会をいただいた。

### 商店会 web の管理？

あるとき、お世話になっている方のご紹介で、商店会のホームページを管理できるか？という依頼があった。つまりホームページ制作会社として見積もりを提示して欲しいというお仕事である。当時商店会という組織はあまり予算を持ち合わせてないという認識を持っており「50店舗の会員情報を更新するには、費用対効果があわない。いっそ商店会が地域情報サイトを運営して、近隣の非会員事業者や大型店から広告収入を得てはどうか？」と恐る恐る提案してみた。意外にも好感触。しかし先方が一枚上手である。稲村会長曰く、「面白い事を言うやつだなあ！しかし商店会が運営すると、みんな商店会が何かやっている、としか思わない。君のような人間が運営したほうがうまくいくだろう。応援するからやってみたまえ。」

単純な齊藤は、「ああそうか。」と思い、結局その一言がタウンカフェを生み出すきっかけとなったのだ。





その後、港南台テント村の場の魅力や、週に6日間も空いている商店会事務所を有効活用できないか? など様々な思惑が次から次へと生まれてくる中で、商店会の事務や港南台テント村の受付などといった、業務委託の依頼、会社(株式会社イータウン)として事務所を構える時期にあったこと、そして、横浜市の商店会空き店舗活用の補助事業による家賃補助の仕組みの存在などの条件が重なって、港南台に「事務所兼居場所=拠点」が作れるかもしれない...と思いつくが早い物件探しは先かは覚えてないが、ものすごい勢いでプロジェクトが動



きだした。足掛け4年になる交流交差点の構想と、信頼できる仲間たちとの関係や広いネットワークを活かしたプランニングにより、それから9ヶ月後にはオープンセレモニーの日を迎えていたのであった。(齊藤)



作: 伊藤 いた

2007	2008	2009	2010	2011
○ キャンドルナイト in 港南台 開始	<b>経産省CBノウハウ移転事業</b>			<b>町田市 CB 啓発事業受託</b>
	○ よこはま CBsmiles 地域支援 拠点			
	補助金終了後も、自立的な運営。小箱ショップを中心とした情報、イベントなどの安定財源の確保			
	拠点 1F を事務所に			
	○ 港南区民活動支援センター ブランチ事業 開始			
		<b>地域経済元気づくり事業受託</b> (横浜市経済観光局)		
		コミュニティカフェやコミュニティビジネスの人材育成事業に成長。		
	○ 港南台はちみつ畑プロジェクト 株式会社キクシマとの協働事業			
常 1 非 6 円 20		常 2 非 9 円 35		

# 港南台タウンカフェ 5年間の軌跡

## 2005

- 6/16 港南台タウンカフェオープンミーティング 第1回
- 7/2 港南台タウンカフェオープンミーティング 第2回
- 9/13 港南台タウンカフェ説明会 15人参加
- 9/18 天井ペンキ塗り
- 9/22 横浜市商店街空き店舗活用事業補助金交付決定
- 10/1 かわら版(港南台タウンカフェ通信) 第1号発行
- 10/1 港南台連合自治会でポラティフ募集案内を各戸配布
- 10/10 ボランティア研修会 11名参加
- 10/11 小箱ショップ搬入開始
- 10/15 港南台タウンカフェオープン、式典・懇親会開催
- 10/19 パソコン相談コーナー開催
- 10/24 かわら版企画会議を実施(横浜港南台商店会、まちづくりフォーラム港南、しゃべり場)
- 11/2 パソコン安全セミナー実施
- 11/12 デコパージュ体験教室開催(ARIES-Kと共催)
- 11/24 小箱ショップオーナーズミーティング 第1回開催
- 12/2 まちサロン(2) マロニエのまちづくり  
(主催:まちづくりフォーラム港南)
- 12/17 港南台スウィーツアンケート開始
- 12/17 港南台テント村 FHCY+ 商店会連携事業

## 2006

- 1/22 地域の枠組み研究会:港南茶論
- 2/14 音楽通り初開催(1)フルート
- 3/7 リフレッシュ商店街の会
- 3/11 新潟の「ところろ天」と「えご」試食会
- 4/22 港南台テント村:ちゃんこ鍋(大相撲友綱部屋)
- 6/9 ジャワ地震救援募金開始
- 7月 ボランティア役員制度発足
- 7/14 商店街と学校等地域連携事業(県補助8回開催)
- 7/29・30 港南台国際協力まつり(横浜NGO連絡会主催)
- 8/1 小箱スクエア初開催
- 8/1 ジャワ支援かながわに参加。募金活動継続実施
- 8/19・20 港南台連合夏祭り(横浜港南台商店会共催)
- 9/9 港南台テント村オープンカフェ・音楽通り
- 9/10 市民メディアサミット 2006 セッション運営  
(主催:横浜市民メディア連絡会)
- 9/27 まちサロン(3) 地域に開かれた学校  
「港南台ひの養護学校」
- 9/30 金沢文庫芸術祭参加(小箱オーナー8グループ) 出展
- 10/7 鉄道イベントプラレール in 港南台テント村
- 10/10 ~ 14 1周年記念イベント開催(鉄道展示)
- 10/15 まちサロン in CAFE(4) 港南の歴史と鉄道
- 11/10 デジタルアーカイブ 第1回会合

## 2007

- 1/14 スタッフ・ボラ交流研修会
- 2/10 ボランティア交流会
- 3月 港南台子育てマップ発行
- 3/5 ~ 港南百景プロジェクト開始
- 3/10 まちサロン横浜市民メディア連絡会
- 6/16 まちサロン in CAFE ~ 港南台の歴史
- 6/23 キャンドルナイト in 港南台 2007
- 7/20・21 港南台国際協力まつり開催(YNN 共催)
- 8/4 市民レポーター養成講座 7名参加
- 9/8 港南台テント村出張小箱ショップ
- 9/15-16 バリアフリーフェア出展
- 9/23・24 スタッフ研修合宿@さわやか港南
- 10/ ~ まちかど交流ステーション事業開始
- 10/15 港南台タウンカフェ 2周年記念交流会
- 11/1 横浜 CBsmiles 地域支援拠点となる
- 11/2 もっと×2 交流ステーション(1)
- 11/17 まちサロン in CAFE ~ 捺染(港南歴史サロン共催)
- 11/25 プレイパーク竹林まつりへキャンドル付お祝い金贈呈
- 12/17 よこはま若者サポートステーション 1周年交流会
- 8月 ~ 港南 JAZZ フェスティバル事務局
- よこはま若者サポートセンター(横浜市設置・NPO 法人ユースポート横浜運営) 受け入れ研修実施



## 2008

- 1/16 ~ 港南台タカシマヤー坪ショッパ参加
- 2/16 こうなん歴史サロン
- 3/13 まちかど交流ステーション意見交換会
- 5/10 港南台マロニエ音楽祭
- 5/15 第1回小箱サロン開催(旧オーナーミーティング)
- 5/21 交流会(市民セクターよこはま・港南区役所・まちづくりフォーラム港南、経済観光局)
- 6/14 港南台テント村・音フェスタ、キャンドルWS
- 6/21 キャンドルナイト in 港南台
- 7/26・27 港南台国際協力まつり(YNN 共催)
- 7/27 経産省補助事業～地域移転事業プロジェクト開始
- 8/3 ボランティア・スタッフ交流研修会
- 8/23 港南台連合夏祭り参加(港南台連合自治会主催)
- 9/20・21 横浜市ライブデザインフェア出展
- 9/27・28 港南台高校文化祭ガリバーマップ出展
- 10/12・13 港南台タウンカフェスタッフ宿泊研修
- 10/14 港南台タウンカフェ新看板設置完了(1F外)
- 10/15 港南台タウンカフェ3周年記念交流パーティー
- 11/7 もっと×2交流ステーション with まちサロン
- 11/14 cafeマイスター養成講座(経産省事業)第1回
- 12/4 タウンカフェ運営会議
- 12/13 港南台テント村・ブラレール・ガリバーマップ

## 2009

- 2/15 ボランティア・スタッフ交流会
- 2/27 よこはまCBSailes 事例発表会
- 3/3 港南台テント村作戦会議
- 3/19 ソーシャルビジネス55選贈呈式
- 3/29 ボラフェアウェルパーティー
- 4/10 港南台タウンカフェニュースレター創刊
- 4/11 港南台テント村・うまいもん祭り
- 4/13 ~手と手コラボ展示会開催
- 5/9 港南台テント村・フェアトレードまつり
- 5/10 ガリバーさんの足跡探し(街歩き)
- 7/1 横浜市地域経済元気づくり事業開始(委託)
- 7/16 横浜人・まち・デザイン賞受賞式
- 7/30 cafeマイスター養成講座01
- 8/2 若者サポートステーション交流研修会
- 8/21・22 港南台連合自治会夏祭り参加
- 9/5 キャンドルナイト in 港南台
- 9/12 木もれびカフェ改装(ペンキ塗り)
- 10/15 港南台ゆかた4周年&横浜港南台商店会25周年
- 10/25-26 港南台タウンカフェ研修旅行(長野)18名
- 11/14 港南台テント村100回記念餅つき祭り
- 11/18 港南台テント村大正琴(街の先生活動支援)
- 1/23 コミュニティカフェフォーラム@横浜開催120名

## 2010

- 2/11 ボランティア・スタッフ交流研修会
- 2/27 港南台地域元気フォーラム  
@港南台ひの特別支援学校
- 2月 中学生職業体験レポート活動開始
- 3/6 コラボレーションフォーラム@上大岡
- 5/13 プログミニ講座
- 5/15 2010年度まちづくり月間国土交通大臣表彰受賞
- 8月～はちみつプロジェクト計画開始
- 5/22 港南台テント村はちみつ試食
- 5/23 絵本お披露目&交流会@金井幼稚園
- 6/10 中学生レポートサポーター座談会
- 6/12 港南台テント村(まちの魅力大集合)
- 7/4 パウムクーヘンづくり@プレイパーク
- 7/9 現場視察会01(以降2月まで9回開催)
- 7/24・25 港南台国際協力まつり  
(キャンドルづくりワークショップを会場内にて実施)
- 8/1 タウンカフェボランティア・スタッフ交流研修会
- 8/21・22 港南台連合夏祭り参加
- 9/4 キャンドルナイト in 港南台
- 10/7 はちみつレシビコンテスト審査会
- 10/15 タウンカフェ5周年式典+地域元気フォーラム



# リーフレット・情報誌・報告書で振り返る

## キャンドルナイト in 港南台



**キャンドルナイト 2010 in 港南台**  
My home, My town, My earth!!  
9/4(土) 19:30~21:00  
入場無料

2010年9月4日(土) 19:30~21:00  
※ライトアップは19:00です!  
港南台テント村(港南台駅前歩道橋下)で  
どなたでも参加できます  
※お天気に合わせて開催できない  
場合は、当日のうちに港南台  
キャンドルナイトを  
延期させていただきます。  
※雨天決行です。

音楽を聴く、ゆつくり過ごす、大切なひとと一緒に、思い思いの時間を過ごしませんか?

http://www.towncafe.jp



**キャンドルナイト 港南台 2009**

「キャンドルナイト」は、港南台のまちを、キャンドルの光で照らすイベントです。キャンドルを灯すことで、港南台のまちを、キャンドルの光で照らすことができます。



**キャンドルナイト 港南台 2009**

「キャンドルナイト」は、港南台のまちを、キャンドルの光で照らすイベントです。キャンドルを灯すことで、港南台のまちを、キャンドルの光で照らすことができます。

## 港南台はちみつ畑プロジェクト



**港南台はちみつ畑プロジェクト**

港南台はちみつ畑プロジェクトは、港南台のまちを、はちみつの香りで照らすイベントです。はちみつ畑を育て、はちみつを収穫し、はちみつを味わうことができます。

http://www.towncafe.jp/honey



**はちみつスイーツレシピコンテスト**

あなたのアイデアで、まちが元気になる!?

港南台はちみつスイーツコンテスト

## 小箱ショップ



**小箱ショップ**

小箱ショップは、港南台のまちを、小箱の香りで照らすイベントです。小箱を育て、小箱を収穫し、小箱を味わうことができます。



**小箱ショップ**

小箱ショップは、港南台のまちを、小箱の香りで照らすイベントです。小箱を育て、小箱を収穫し、小箱を味わうことができます。



**小箱ショップ**

小箱ショップは、港南台のまちを、小箱の香りで照らすイベントです。小箱を育て、小箱を収穫し、小箱を味わうことができます。



**もっとx2 交換ステーション**

もっとx2 交換ステーションは、港南台のまちを、もっとx2の香りで照らすイベントです。もっとx2を育て、もっとx2を収穫し、もっとx2を味わうことができます。



**まちサロン in Cafe**

まちサロン in Cafeは、港南台のまちを、まちサロンの香りで照らすイベントです。まちサロンを育て、まちサロンを収穫し、まちサロンを味わうことができます。

## 港南台テント村 (地域交流イベント)



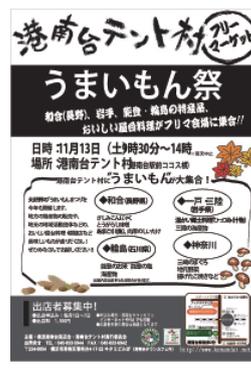
**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。



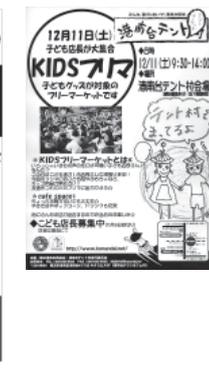
**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。



**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。



**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。



**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。



**港南台テント村**

港南台テント村は、港南台のまちを、テントの香りで照らすイベントです。テントを育て、テントを収穫し、テントを味わうことができます。

## 音楽通り in CAFE



**音楽通り in Cafe**

音楽通り in Cafeは、港南台のまちを、音楽の香りで照らすイベントです。音楽を育て、音楽を収穫し、音楽を味わうことができます。



**音楽通り in Cafe**

音楽通り in Cafeは、港南台のまちを、音楽の香りで照らすイベントです。音楽を育て、音楽を収穫し、音楽を味わうことができます。

## シンポジウム・フォーラム等



**子ども・まち・元気フォーラム**

子ども・まち・元気フォーラムは、港南台のまちを、子ども・まち・元気の香りで照らすイベントです。子ども・まち・元気を育て、子ども・まち・元気を収穫し、子ども・まち・元気を味わうことができます。



**ガリバーさんの足跡さがし**

ガリバーさんの足跡さがしは、港南台のまちを、ガリバーさんの香りで照らすイベントです。ガリバーさんを育て、ガリバーさんを収穫し、ガリバーさんを味わうことができます。

## 中学生レポート



**中学生が見て感じて伝える まちのシゴト**

中学生が見て感じて伝える まちのシゴトは、港南台のまちを、中学生の香りで照らすイベントです。中学生を育て、中学生を収穫し、中学生を味わうことができます。

# Leaf@letter



## cafe マイスターのツボ

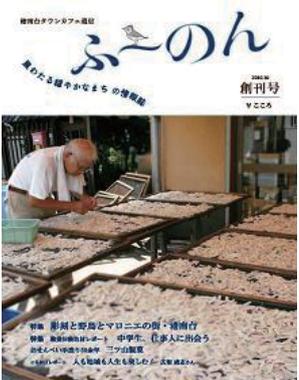


港南台タウンカフェでは、コミュニティカフェの運営マニュアルとなる「cafe マイスター 20のツボ」を発行しました  
 発行：2009年4月  
 頒布：1,500円（税込）

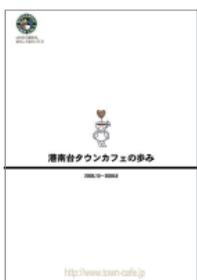
## 港南台タウンカフェ通信 かわら版



## 港南台タウンカフェ通信 ふーのん



## 港南台タウンカフェ報告書



## ボランティア募集



# 港南台タウンカフェの運営ノウハウが 全国各地で活かされています。

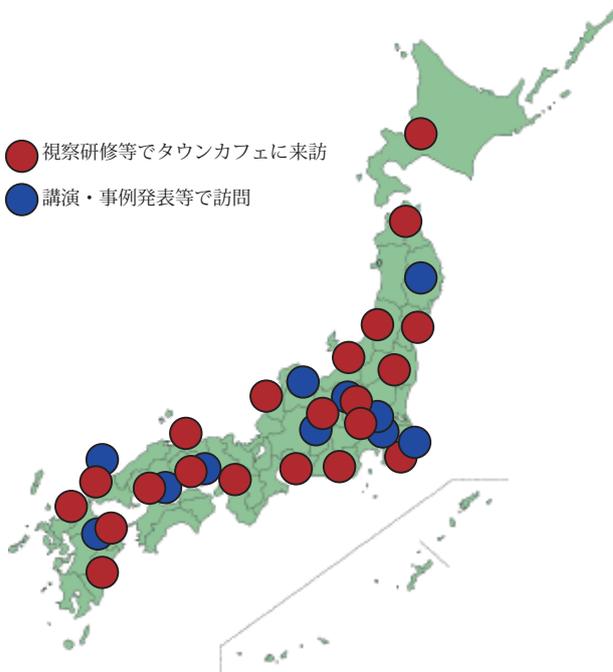
港南台タウンカフェには、開設以来数多くの視察や講演の依頼をいただいています。個人でコミュニティカフェやコミュニティビジネスを立ち上げたい方、商店街や商工会として、地域活性化を目指す方々、行政や支援機関の職員としてサポートするための方策を考えたり、補助金・助成金の仕組み作りの参考にしたり、、、。多様な方々のご縁から、普段自分たちで気づけなかった、港南台タウンカフェの意義や成果、そして課題などに気づかせていただき、それを、また次の方のために反映させる。そんな相互支援のような視察や研修、講演を積み重ねてきました。

こうした港南台タウンカフェの取り組みは、横浜市や神奈川県のみならず、全国的にも先進事例として紹介されることも多くなりました。

また、自治体としてもコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの支援施策の一環として、港南台タウンカフェのノウハウも大きく役立っているようです。

## 視察・講演・講師など

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>[2005年]</b><br/>12/15 鶴見区コミュニティビジネスセミナーで講演</p> <p><b>[2006年]</b><br/>2/9 横浜国大教育人間科学部「国際共生社会課程」視察<br/>3/9 中小企業大学校(中小企業基盤整備機構) 事例紹介<br/>5/27 中央大学法学部講義「メディア政策」にゲスト講師<br/>7/12 浜松商工会議所視察(20名)<br/>9/27 川崎TMO協議会講演<br/>11/9 茅ヶ崎まち・未来塾にて事例紹介(茅ヶ崎商工会議所)<br/>11/17 県知事ふれあいミーティング(稲村会長)<br/>11/28 東京都荒川区商店街連合会視察 35名</p> <p><b>[2007年]</b><br/>7/6 全国政令指定都市経済局課長会議視察 30名<br/>9/6 さいたま市宮原三丁目商工会視察 12名<br/>9/9 CB入門講座 in 戸塚区<br/>9/20 神奈川県商業施設士会総会基調講演<br/>12/15 群馬県生涯学習支援センター講演</p> <p><b>[2008年]</b><br/>1/21 韓国江原道寧越郡庁社会福祉課長他2名視察<br/>1/26 杉並区シンポジウムパネリスト参加<br/>3/4 新横浜周辺地区協議会視察研修・意見交換会<br/>3/6 若者リハビリセミナーパネリスト<br/>3/10 みんなのえんがわ池袋視察:としまNPO推進協議会<br/>3/15 戸塚区ボランティアフォーラム講演<br/>3/28 富士ゼロックス株式会社視察<br/>3/31 浜松市役所商工部福祉政策課視察<br/>8/23 法政大学通口ゼミ学生ヒアリング<br/>10/23 埼玉県川越比企地域振興センター講演</p> | <p>11/14 cafeマイスター養成講座(経産省事業)<br/>11/15 戸塚駅周辺まちそだてフォーラム:コメンテーター<br/><b>[2009年]</b><br/>1/17 別府シンポジウム講演(別府市中心市街地活性化協議会)<br/>1/24 多摩コミュニティビジネスシンポジウム<br/>1/31 みんなが集う地域活動実践セミナー(横浜市体育協会)<br/>2/3 CBシンポジウム虎ノ門(関東経済産業局)<br/>2/13 地域の活性化・元気創造CB推進セミナー(山口県防府市)<br/>2/14 横須賀コミュニティビジネスセミナー<br/>2/16 群馬県コミュニティビジネスシンポジウム<br/>3/12 北九州市視察<br/>6/7 千葉まちづくりサポートセンター講演<br/>8/10 弘明寺商店街視察<br/>8/22 岡山県総社市講演<br/>9/13 静岡市地域シゴトの学校視察(静岡市)<br/>9/26 岡山市まちづくり塾講演<br/>10/16 専修大学KS(川崎・専修)エンレヂビズ・アカデミー講師<br/>10/28 横浜ライフデザインフェアで講演(名和田、斉藤)<br/>10/31 神奈川子ども未来ファンド:情報開示(ブログ)講座<br/>11/9 鶴見区社協視察<br/>11/9 石川県白山市商工会視察研修<br/>11/10 多摩コミュニティビジネス講座(第2回)<br/>11/14 磯子区CB入門講座(経済観光局・磯子区共催)<br/>11/15 法政大学講演<br/>11/16 ドミニカ日系人協会視察研修受け入れ<br/>11/19 横浜市職員研修講師(地域力推進研修)<br/>12/1 産業能率大学講義(SBの事例について)<br/>12/5 相模原コミュニティビジネスフォーラムへ講演</p> | <p>12/10 宮崎市大塚台・生自台地域まちづくり推進委員会視察<br/>12/20 日本福祉大学スクーリング講義(福岡市)<br/><b>[2010年]</b><br/>1/20 静岡市視察<br/>1/23 コミュニティカフェフォーラム@横浜開催120名<br/>1/26 内閣府ヒアリング<br/>2/6 古(い)こ(え) ツーリズムシボジウム講演(岡山県総社市)<br/>2/13 多摩CBシンポジウム:コーディネーター<br/>2/18 神奈川コミュニティビジネスセミナー視察研修講師<br/>3/12 横須賀コミュニティビジネス講師@横浜<br/>3/18 群馬コミュニティビジネス交流会講師@前橋<br/>5/21 専修大学KS(川崎・専修)エンレヂビズ・アカデミー講師<br/>6/1 横浜市SB現場視察体験会事業開始(委託事業)<br/>6/19 女性のための起業セミナーカフェ編<br/>8/7 神奈川県創業フォーラム<br/>7/29 SB公共未来塾講師(01)<br/>9/18 港区CBシンポジウム基調講演+事例発表<br/>10/23 町田市CBシンポジウム事例発表<br/>10/25 富山国際大学講義<br/>11/6 コミュニティビジネス起業塾講師:ひろしまNPOセンター<br/>11/16 ドミニカ日系人協会視察研修受け入れ<br/>11/18 川崎市多摩区役所区民協議会視察研修<br/>11/18 かながわコミュニティカレッジNPOマネジメント講座「協働・連携編」<br/>11/30 地活地域が更に輝く『3つの工夫』講演(横浜市健康福祉局 横浜市社会福祉協議会)</p> |
|--|--|--|



# 行政との協働や 委託事業など



## ●港南区民活動支援センターブランチ事業

横浜市 18 区でも唯一の取り組みとして、民設民営のコミュニティカフェが、市民活動支援機関のブランチとして位置づけられました。区役所との協働事業として港南台タウンカフェの地域活動や情報発信を実施しています。  
[港南区] (2008 年度～)

## ●木もれびカフェ

(横浜市地域経済元気づくり事業)

横浜市内 8 箇所で開催されたモデル事業。コミュニティビジネス事業者が商店会と連携して、地域の事業者や学校、自治会・各種団体、市民らと、地域活性化について考え実践する取り組み。中学生レポートや港南台はちみつ畑プロジェクト、情報誌リーフレターなどの成果に生かされています。  
[横浜市経済観光局] (2009 年～2010 年度)

## ●cafe マイスター養成塾

(経産省コミュニティビジネスノウハウ移転事業)

全国約 20 のコミュニティビジネスの運営ノウハウを、他の地域に提供する補助事業。港南台タウンカフェでは、盛岡、長野、東京、神奈川、岡山、大分のコミュニティカフェ、及びコミュニティカフェ立ち上げ検討をしている事業者の方々と、学び合いの講座や各地でのハンズオン支援などを実施しました。[経済産業省] (2008 年度～2009 年度)

## ●港南台タウンカフェ現場視察会

(横浜市ソーシャルビジネス普及事業)

年間 10 回にわたり、港南台タウンカフェの視察会を行いました。人材や資金・ネットワーク・事業運営など毎回異なるテーマや豊富な講師陣での連続講座形式の視察会。また同時に実践現場での体験や、短期・長期のインターンシップ受け入れも行いました。  
[横浜市経済観光局] (2010 年度)

## ●CB セミナー&啓発冊子

(町田市コミュニティビジネス支援事業)

町田市でのコミュニティビジネスセミナー。起業を考えている方向けの 5 回連続セミナーの企画運営を行いました。またコミュニティビジネスを理解してもらうための啓発冊子 (A5 判 16 ページ) の制作も行いました。  
[町田市産業観光課] (2010 年度～)

## ●よこはま CBsmiles 地域支援拠点

NPO 法人市民セクターよこはまが横浜市経済観光局と協働で行っていた、コミュニティビジネス支援事業 (通称:よこはま CBsmiles:イータウン代表の齊藤が事業運営責任者として関わる) の、地域支援拠点として、コミュニティビジネス・コミュニティカフェの起業者向けの個別相談やセミナー講座などの運営協力を行いました。  
[NPO 法人 市民セクターよこはま] (2007 年度～2010 年度)

# プレスクリップ メディアなどで紹介されました



## 高齢化の街 交流再生 「港南台タウンカフェ」が取り組み

「カフェ」は駅に近い近居店の隣にある。灰色の階段を上がついて80平方メートルの細長いスペースに入ると、そこは職も味も具置「丹沢杉」の板張りの木が香る。おいしいコーヒーや軽食も味わえるこの場所は、地元の人々が自慢の手作り品を売る雑貨店であり、楽しい催しを計画する人たちの会議室でもある。

「カフェ」は駅に近い近居店の隣にある。灰色の階段を上がついて80平方メートルの細長いスペースに入ると、そこは職も味も具置「丹沢杉」の板張りの木が香る。おいしいコーヒーや軽食も味わえるこの場所は、地元の人々が自慢の手作り品を売る雑貨店であり、楽しい催しを計画する人たちの会議室でもある。

「カフェ」は駅に近い近居店の隣にある。灰色の階段を上がついて80平方メートルの細長いスペースに入ると、そこは職も味も具置「丹沢杉」の板張りの木が香る。おいしいコーヒーや軽食も味わえるこの場所は、地元の人々が自慢の手作り品を売る雑貨店であり、楽しい催しを計画する人たちの会議室でもある。

## 小箱ショップ、人集う場に

品物の補充に通う店主同士が頻りにやり取り、おしゃべりは楽しい企画に発展する。07年2月に駅前の空き地、港南台タウン

2010/8/31 朝日新聞掲載

- 2005/9/17 神奈川新聞報道：経済面
  - 2005/11/13 朝日アドバンスで紹介されました。
  - 2006/2/25 tvk (テレビ神奈川) Hll 横浜編集局
  - 2006/2/26 tvk (テレビ神奈川) TRY かながわ
  - 2006/3/1 広域関東圏コミュニティビジネス事例集掲載
  - 2006/5/1 日経 MJ (日本経済新聞社発行) に取材記事掲載
  - 2007/2/1 神奈川県広報誌「県のためより」商店街空き店舗活用事例掲載
  - 2007/3/16 青少年 (内閣府発行) に掲載。社団法人青少年育成国民会議
  - 2008/3/24 週刊ビル経営掲載
  - 2008/5/1 pal\*system のんびる特集記事掲載
  - 2008/5/18 ガリレオチャンネル (東京 MX テレビ) でテレビ放映
  - 2008/4/1 ~ 2008/7/1 タウンニュース港南区版小箱物語連載
  - 2008/7/1 pal\*system kinari 表紙紹介
  - 2009/3/29 タウンニュース掲載 (SB 5 5 選)
  - 2009/4/14 金融ジャーナル誌に掲載
  - 2009/6/11 NHK 「いっとろっけん」放映
  - 2009/6/16 人間会議 2009 年夏号 掲載
  - 2009/6/30 地域貢献のすすめ-小企業による地域貢献活動の実態 (日本政策金融公庫総合研究所)
  - 2009/8/13 神奈川新聞企画ベンチャー「広がるCB型の起業」掲載
  - 2009/8/22 神奈川新聞人コーナー掲載
  - 2009/12/1 地域づくり掲載 (特集) 地域活性化センター
  - 2009/12/4 j-com テレビ放映
  - 2010/1/14 FM よこはま放送 (ホズミング)
  - 2010/8/1 ヨコハマ・人・まち (横浜市発行) 第 34 号特集掲載
  - 2010/8/31 朝日新聞掲載
  - 2010/9/17 神奈川新聞掲載 (港南台はちみつ畑プロジェクト)
  - 2010/9/29 ラジオ日本「ヨコハマろはす (ソレ知りたへい)」生放送出演
  - 2011/3/30 横浜ソーシャルビジネス経営ハンドブック SPARK 掲載
  - 2011/3/30 TAKEACTION! ソーシャルビジネスアーカイブ掲載
- 他、横浜タウン新聞、はかせせ新聞、タウンニュース、すまいる情報館など多数



2008/7/1 pal\*system kinari 表紙紹介

## ヨコハマ人・まち

まち人がまじりあふ

vol. 34

### 地域の居場所が育むモノ

居場所には、育むモノがあります。

居場所には、おいしい食料と仲間たちがあります。

居場所には、誰か気遣ってくれる空間があります。

多文化まちづくり工房

さくら茶屋にししば

## 港南台タウンカフェは交流するだけでなく、地域の人が参加し、育ちあう場所でありたい。

港南台タウンカフェ 齊藤 保さん

「港南台タウンカフェ」は、2005年10月、港南台「港南台タウンカフェ」がまちづくりフォーラム横浜(株式会社イータウン)の三者が連携して開かれました。今秋、「港南台タウンカフェ」は、自治体と民間企業、市民が連携してまちづくり月間横浜交際大使表彰を受賞、先進的な地域づくりの拠点として、全国にも大きな注目を集めています。

小箱ショップが運営に加わるきっかけに

「人々が集まり、交流するが前提のコミュニティカフェ。港南台タウンカフェは、そこから一歩進んで、地域の方が参加して、育ちあう場所でありたい」と「港南台タウンカフェ」の齊藤さんはいいます。その言葉のとおり、「港南台タウンカフェ」は、オープン以来、地域の方が参加し、様々なプロジェクトを企画してきました。

まちが育つ場所であり、人が育つ場所

多くの学生ボランティアやインターンが活動に関わっていることも、「港南台タウンカフェ」の特徴です。フリーマーケットを中心とした「港南台プロジェクト」で、大学がボランティアの募集した学生に協力をいただき、地域の方が参加して、まちづくり月間横浜交際大使表彰を受賞、先進的な地域づくりの拠点として、全国にも大きな注目を集めています。

2010/8/1 ヨコハマ・人・まち (横浜市発行) 第 34 号特集掲載

## 人間会議

健康で長生きできる暮らし方

夏

2009/6/16 人間会議 2009 年夏号掲載

## 神奈川

地域で活動する団体とつながりあう場

2010/9/17 神奈川新聞掲載 (港南台はちみつ畑プロジェクト)

## 地元企業など連携 ミツバチ通じ 地域活性化

2010/9/17 神奈川新聞掲載 (港南台はちみつ畑プロジェクト)



スタッフが  
“勝手に”  
選んだ

# 港南台タウンカフェ TOPICS BEST20

2005-2010



## 新しい港南台マガジンふーのん誕生

2010/10/1 ふーのん（港南台タウンカフェ通信）創刊しました！これまでのかわら版に代わり、港南台の魅力や、ボランティアの市民レポーターがしっかりと、お伝えしていきます。



## NHKテレビで紹介されました

2009/6/11 NHK「いっとろっけん」で港南台タウンカフェの様子放映されました。



## お泊り研修で交流と学びを

なぜかスタッフの間で上位があがったお泊り研修会。研修では、和気藹々とゲームをしたり、仲良くお料理を作るだけでなく、「港南台というまちにとってのタウンカフェとは」というワークショップを行い、まじめな顔を見せる一面も。一年に2回行われるスタッフ研修会は、タウンカフェにとってなくてはならないものとなっています。



## キャンドルナイトが生まれる

2007/6/23 小箱オーナーさんやボランティアスタッフの呼びかけでキャンドルナイト in 港南台 2007 が初開催！以降毎年開催。2010年には40名を超える運営スタッフと、625名の来場者となるイベントに成長しました。地元企業や団体の賛同も多く広報やライトオフ、物品提供、協賛金支援など30社以上にご協力いただいています。



## 港南台タウンカフェオープン

2005/10/15 半年余りの準備期間を経て2005年10月に待望のオープンです。丹沢スキの芳香と美しい店舗には驚きを隠せませんでした。3回にわたり開催されたオープンミーティングやボランティア説明会、横浜市との空き店舗補助申請、小箱ショップ出店者募集など昼夜働きの今となっては懐かしい記憶です。当日は、港南区長や地元自治会関係者らと式典・懇親会を開催。



## 港南台タウンカフェ通信発行

（通称かわら版の第一号はタウンカフェオープンと同じ2005年10月に発行。その後2010年春号の18号まで年4回、毎回2万部を発行してきました。2010年10月ふーのん創刊に伴い終了。



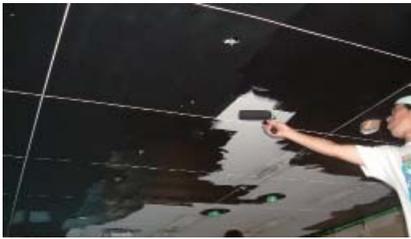
## 港南台高島屋さんとの協力

タウンカフェの小箱ショップが、なんと高島屋に移動。これは、高島屋さんが企画している一坪ショップというもので、ご希望したオーナーさんが期間限定で移動販売を行います。普段お話ができない方との交流や、オーナーさん同士のコミュニケーションができる場として、貴重な機会となっているようです。



## ソーシャルビジネス55選

2009/3/19 経済産業省が行うソーシャルビジネス55選に、株式会社イータウンが選定されました



### 天井のペンキ塗りで汗かきました

スタッフの中では、誰も経験していないペンキ塗りがなぜかラクイン。タウンカフェの改装前はかなり閑散としていて、長机が無造作においてあるような事務所でした。そこを代表の斉藤家が改装。今ではこんなにステキなカフェに変身しました。



### 港南台のはちみつができました！

2010年7月 地元建設会社、株式会社キクシマさんの屋上で採れたはちみつを地域で育てるプロジェクト。はちみつ応援団やレシピコンテストを実施しました。



### 過酷な？改装工事

2009/9/12 木もれびカフェ改装（ペンキ塗り）汗と埃と泥水、そしてペンキにまみれて！延べ20名もの学生やボランティアが協力してくれ、キタミビル1Fの倉庫が事務所に変身。笑顔？の大掃除でした。



### 音楽通り生まれる！

2006/2/14 音楽通りと名付けられたイベント。路上ライブのように、タウンカフェ内でBGMがわりに演奏を披露してもらうもの。篠笛と日本酒イベントを皮切りに、2/14にフルート演奏、3/25のウクレレ演奏など毎月1-2回程度、ライアー、クラシックギター、JAZZ、二胡など多彩な演奏が継続的に開催されるようになりました。



### 小箱が足りないから増やしちゃお！

タウンカフェオープン時には72棚あった小箱ショップですが、すぐキャンセル待ちの状態に……。オープンしてから2年目に無理やり棚を増設し、現在その数は約100棚。それでもキャンセル待ちをいただくほどの人気となっています。



### 全国から120名が横浜に

2010/1/23 経産省の支援を受けて、コミュニティカフェフォーラム@横浜を開催いたしました。120名もの参加者らとコミュニティカフェについて学びました。



### 貸切りバスで長野へ研修旅行

毎年二回行われているスタッフ研修・交流会ですが、今回はオーナーさんやお世話になっている方などかなりの参加人数に。普段からタウンカフェと関わりのあった長野県に訪問し、その土地ならではの体験や食べ物に大満足の一行でした。



### 国土交通大臣表彰を受賞

国土交通省では6月をまちづくり月間と認定しており、まちづくりの推進に努めた団体の一つとして、港南台タウンカフェが表彰されました。表彰式当日は、国土交通省のレッドカーペットの増設も厳粛におこなわれました。



### 一周年を鉄道で祝う？

タウンカフェOPEN前日の10/14が鉄道プラレールの日。1周年記念のイベントでプラレール企画を行いました!! 小さい子どもたちはもちろん、それを見ていた大人までもが一緒に参加し、プラレール企画は5年たった今でも大人気となっています。



### 港南台の元気を考えよう

主に港南台で活動している商店・市民団体をお呼びして、「港南台がもっと元気になるためには？」というテーマでフォーラムを行いました。それぞれの立場を越えた新たなコラボ・地域活性に期待が！



### 小箱オーナーさんの交流の場

タウンカフェでは、出店していただいているオーナーさんに向け、情報を共有する「小箱サロン」を開催しています。この小箱サロンは、どうしても売上げが伸びるか、どうしたら作品の見栄えがよくなるかなどの講習がメインですが、オーナーさん同士の交流の場として非常に重要な役割を担っているようです。



### 念願の飲み会交流会実現へ

「もともと焼き鳥をやっていた」という代表の念願かなって、タウンカフェで毎月第一金曜日の夜が飲み会交流会に変身。幅広い世代の方たちが参加し、多いときには席席が全て埋まるほど。ふとした出会いや会話の中から、新しいつながりが生まれることも。



例えば、コーヒー飲んでまちづくり？  
港南台タウンカフェは、  
人が集い、情報が交わり、つながりづくりからうまれる  
まちづくりプロジェクトの発信基地です。  
小箱ショップやカフェサロンだけでなく、  
地域情報サイト e-town やかわら版の企画・取材・編集や、  
港南台テント村等イベントの企画・運営など、  
地域の団体などと連携して  
まちづくりの事務局機能を担っています。  
いろんな出会いや交流を、  
1杯のコーヒーをのみながらさがしてみませんか？

## 港南台タウンカフェ概要

所在地	横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2F JR 港南台駅徒歩約2分
運営	株式会社イータウン 横浜港南台商店会 まちづくりフォーラム港南
面積	72.73㎡ (約22坪)
開設	2005年10月15日
事業内容	小箱ショップ / カフェサロン / 貸しスペース / 貸しギャラリー / 情報発信 地域交流コーディネート・事務局機能 / イベント企画運営 タウンシェフ養成 (人材育成)
スタッフ	常勤スタッフ2名 / 非常勤スタッフ9名 ボランティアスタッフ 約35名 / インターンスタッフ2名

港南台タウンカフェ5年のあゆみ

発行者：横浜港南台商店会、株式会社イータウン、まちづくりフォーラム港南

編集：山本瑞穂、齋藤 保

記事データ等作成・執筆にあたり、関係者の皆様、港南台タウンカフェのインターン・ボランティア・スタッフなど多くの方々のご協力をいただきました。

\*掲載されている情報は、2010年10月現在のデータです。

定価 本体 1,000 円＋税